

〈建学の理念〉

知育・徳育・体育 三位一体による医療人としての全人格の完成

〈教育理念〉

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することを教育理念とする。

〈教育目標〉

1. 幅広く深い教養と豊かな人間性の涵養
2. 確かな専門の知識および技術の修得
3. 自主性・創造性および協調性の確立
4. 地域社会ならびに国際社会への貢献

〈歯学部教育理念〉

本学の教育理念を基本として、歯科保健、歯科医療と福祉の連携・統合をはかる教育を推進し、人々の生涯を通じた口腔の健康を守る医療人の養成をもって、地域社会ならびに国際社会に貢献し人類の幸福に寄与することを歯学部の教育理念とする。

〈歯学部教育目標〉

1. 人々のライフステージにおける口腔疾患の予防、診断および治療について基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療技術の修得
2. 歯科医師としての心構えと倫理観の育成
3. 生涯にわたる研修の継続と自己開発能力・習慣の確立
4. チーム医療（保健と医療と福祉）において協調し建設的に行動できる態度と能力の涵養

北海道医療大学 教育の基本方針

【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

〔大学全体〕

北海道医療大学は、大学及び各学部・学科の教育理念・目的に基づいた教育目標の達成に向けて、全学教育及び専門教育科目を履修し、保健・医療・福祉の高度化・専門化に対応しうる高い技術と知識、優れた判断力と教養を身につけ、かつ各学部・学科が定める履修上の要件を満たした学生に対して「学士」の学位を授与します。

〔歯学部〕

以下の要件を満たす学生に対して「学位」を授与します。

1. 専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力
安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。
2. 総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力
「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。
3. 科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢
より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。
4. 多職種連携能力
多職種（保健、医療、福祉、介護）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。
5. 社会における医療の役割の理解
歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

〔大学全体〕

北海道医療大学は、教育理念にある「保健と医療と福祉の連携・統合」を基本として、確かな知識と技術、深い教養と豊かな人間性を持ち、広く社会に貢献できる高度専門職業人の育成に向けた教育課程を編成します。すなわち、幅広く深い教養と豊かな人間性・自立性・創造性・協調性の修得をめざす「全学教育」、及び確かな専門知識と技術の修得をめざす各学部・学科の「専門教育科目」を適切に組合せた学士課程教育を提供します。

〔歯学部〕

歯学部学位授与方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施しています。

1. 情報・科学技術を生かす能力、専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能
歯科医師として必要な基本的知識・技能・態度および発展し続ける情報・科学技術を活かす能力の修得をめざし、専門基礎科目および専門臨床科目の講義・実習を1年次～4年次に段階的に配当する。また、4年次における共用試験（CBT・OSCE）で基礎項目の評価後、5年次～6年次前期に大学病院、および地域での診療参加型臨床実習を行い、医学及び関連する学問分野の専門知識による問題解決能力と患者ケアのための臨床技能に基づいた臨床的実践能力を養成する。6年次後期には、知識・技能・態度を体系的・総合的に整理し、基本的資質・能力の養成を図る。
2. 総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力
総合的に患者・生活者を支える医療を提供し法と倫理を遵守する人間性豊かな歯科医師の養成のために、医療倫理教育および医療コミュニケーション教育を1年次～4年次に段階的に編成する。これらの能力については、4年次における共用試験で模擬的・客観的に評価した後、5年次～6年次前期に配当する診療参加型臨床実習によりさらなる養成を図る。また、6年次後期にそれらを体系的・総合的に整理し、本学科が定めた歯科医師として求められる基本的資質・能力の養成を図る。
3. 科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢
生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を続け医療者教育と学術・研究活動にも関与できる意欲と態度を有する人材の養成を図るため、歯科医学研究科目を編成し、実施する。
4. 多職種連携能力
多職種連携に関する講義・演習を1年次～4年次に段階的に配当し、5年次～6年次前期での診療参加型臨床実習において実践する。さらに6年次後期に多職種連携によるチーム医療を体系的・総合的に整理することにより、基本的資質・能力の養成を図る。
5. 社会における医療の役割の理解
経済的な観点および地域特性を捉えた視点を持ちながら地域の保健や医療に貢献できる知識と実践的能力養成に向けて演習および診療参加型臨床実習を編成する。また、歯学英语科目に加えて、海外医療時事に関する講義・演習科目および海外臨床研修・実習を実践し、国際的視野の涵養を図る。

【入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

〔大学全体〕

北海道医療大学は、「21世紀の新しい健康科学の構築」を追究し、社会の要請と期待に応えるため、豊かな人間性や協調性・創造性等に加えて、保健と医療と福祉に関して各学部・学科の高度な研究に裏打ちされた専門性の高い教育を行います。本学卒業には各学部・学科の「学位授与の方針」の要件を満たすこと、すなわち、全学共通基盤の知識・技術・態度が必要となるばかりではなく高度な専門性の修得が要求されます。その

ため、各学部・学科では学位授与の方針の要件をより効果的に達成しうる資質を持った人材を「入学者受け入れの方針」として定めています。

〔歯学部〕

歯学部では、「学位授与の方針」の要件を修得し、多職種連携によるチーム医療をはじめ地域社会や国際社会に貢献できる自立した歯科医師を育成することを目標としています。そのため、本学部では、以下のような資質を持った人材を広く求めます。

1. 歯科医師として医療現場で活躍するという強い意志を持っている人。
2. 生命を尊重し、他者を大切に思う心がある人。
3. 保健・医療・福祉・介護に関心があり、地域社会および国際社会に貢献するという目的意識を持っている人。
4. 生涯にわたって学修を継続し、自己を磨く意欲を持っている人。
5. 入学後の修学に必要な基礎的学力を有している人。

アセスメント・ポリシー

北海道医療大学では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、学生の学修成果を評価し、さらに恒常的な教育改善に資するために学修成果に関する「アセスメント・ポリシー」を定めています。入学時・初年時、在学時、卒業時の各段階で機関レベル（大学全体）、教育課程レベル（各学部・学科）、及び授業科目レベルの三つのレベルにおいて各種指標を用いて学修成果を検証します。

北海道医療大学アセスメント・ポリシー

	入学時・初年時	在学時	卒業時
機関レベル (大学全体)	入学試験 入学時アンケート 調査書等の記載内容 ジェネリック・スキル テスト	修得単位数 GPA 学生生活アンケート ジェネリック・スキルテスト 留年率 休学率・退学率	卒業試験 学位授与数 国家試験（資格試験） 就職率・進学率 卒業時アンケート 卒業率（留年率）
教育課程レベル (学部・学科)	入学試験 入学時アンケート プレイスメント・テスト (入学時テスト) 担任面談	定期試験 修得単位数 GPA 学生アンケート ジェネリックスキルテスト 留年率 休学率・退学率 担任面談	卒業試験 学位授与数 国家試験（資格試験） 就職率・進学率 卒業時アンケート 卒業率（留年率）
授業科目レベル	入学前学習 授業課題レポート 小テスト	科目の合格状況 (実務実習評価) GPA 出席率 授業アンケート 学修履歴（ポートフォリオ）	

〔歯学部〕

履修科目の学修達成度は、知識に関しては筆記試験や CBT、技能や態度に関しては OSCE、レポート、ポートフォリオ、チェックリストおよびルーブリック等を用いて評価する。診療参加型臨床実習については、ポートフォリオによる継続的な形成的評価およびコンピテンシー試験で基本的な臨床能力を評価する。グローバルマインド、研究マインドの達成度評価には海外臨床研修の研修報告書や各種学術大会等での発表内容、ルーブリック等を用いた活動状況や達成度から検証する。また、歯科医師として具有すべき知識に関して、その達成度を卒業試験で評価し、臨床実習終了時に技能・態度の総括的な評価を行う。